

(別紙様式1)

提出先:大阪府立環境農林水産総合研究所 経営企画室推進グループ
〒583-0862 羽曳野市尺度442
E-mail suishin@mbox.kannousuiken-osaka.or.jp

平成27年2月27日必着

平成27年度 大阪産(もん)チャレンジ支援事業応募用紙

応募取組の実施者区分(該当区分に○をつけてください)			
<input type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	法人
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		団体(法人格を有しない任意のグループ)

① 応募者の概要			
事業者の名称	まるまるかぶしきがいしゃ		
	〇〇株式会社		
代表者 役職	代表取締役	代表者 名	おおさか たろう
			大阪 太郎
事業担当者 役職	▽▽店長	事業担 当者名	さかい はなこ
			堺 花子
住所	〒〒555-0000 大阪府〇〇市□□町1-2-3		
ホームページ URL	http://marumaru.co.jp		
TEL	(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇	FAX	(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇
E-Mail	hana-sakai@marumaru.co.jp		
事業概要	・〇〇市で和洋菓子を製造販売。当社人気商品の△△は、大阪駅等でお土産としても販売。 ・地場産素材にこだわった菓子作りを行っており、特産の△△を使ったまんじゅうなど、〇〇市内の生産農家と連携した新商品の開発を行っている。		
「大阪産(もん)」 に関する実績	・特産の△△を使ったまんじゅうや〇〇市産のイチジクを使った洋菓子は、当社においても注目商品としてブログ等でPRを行っている。		

② 本事業において技術支援を受けようとする取組の計画	
取組の タイトル名	「新食感！規格外の大阪産(もん)みかんを使った『さわやかみかんまんじゅう』の開発」
取組の内容	・△△まんじゅうに次ぐ、特産品を使った菓子の開発を目指している。 ・隣接する□□市は柑橘の産地である。しかしながら、直売所出荷にも適さない規格外品の発生が多く、生産者の方は有効活用法を模索していると聞いている。 ・この規格外みかんに着目し、生搾り果汁を使った「さわやかみかんまんじゅう」の商品化を企画している。 ・新商品は、主婦層を中心にアピールし、地元自慢の商品としてPRしたい。

③ (②の取組計画のうち)大阪府立環境農林水産総合研究所の支援を希望する技術等の内容

みかんの生搾り果汁を使った「さわやかみかんまんじゅう」の商品化に向けて、

- ・みかんの風味やビタミン類等を損なわない果汁の加工方法
- ・加工方法の違いによる風味の評価
- ・原料の保存方法

など、安定生産できる技術の確立について技術支援をお願いしたい。

④ 取組の実施体制

- ・当社では、企画開発室が新商品の開発業務を行っている。
- ・今回の商品開発では、当社和菓子部門の「▽▽」が試作を担当する。
- ・技術支援を受けるにあたっては、▽▽店長が調整を務める。

⑤ 支援を受けた後の取組方向・PRしたいこと

- ・技術支援を受けて、平成 27 年 10 月を目途に製造ラインを整備する予定
- ・平成 27 年の 12 月以降、□□市産のみかんを仕入れ、本格的な製造販売を予定
- ・販売にあたっては、風味豊かな新商品であること、地元特産品を原料に使用していることを強調し、大阪産(もん)ロゴマークを付けて販売・PRしたい。

⑥ 取組のスケジュール

年 月	取組項目	技術支援希望内容
27年 4~10月	他産地のみかんを使った試作	衛生的で栄養成分を保持できる搾汁方法の検討、原料の保存方法検討
11月~	□□市産みかんを使った試作品の製造	試作品中の栄養成分の分析、保存試験
28年1月	商品性の検討	食感調査
2~3月	製造工程の改良	改良した工程での試作品の成分、保存性などの分析・評価

⑦ 今回応募するテーマに関連して活用した(あるいは申請中の)研究助成・補助金等

助成・補助の実施機関	助成・補助の制度名	課題名及び実施年度	助成・補助を受けた事業費総額
□□財団	□□財団特産品開発助成	〇〇市特産△△まんじゅう開発 (平成 20 年度)	500 千円

※これまでの活動の概要が分かる資料を添付してください。

※法人・団体の場合は、定款の写し、寄付行為、規約の写し等を添付してください。

※提出いただいた書類は返却いたしません。

※本応募用紙にご記入いただいた情報のうち、採択事業者名および採択取組のタイトルは公表されます。